

〔資料1〕

第79回国民スポーツ大会（わたSHIGA輝く国スポ）  
アーチェリー競技会について（概要）

1. 期 日      競技日程      2025年10月 5日（日）～7日（火）  
                 監督会議      2024年10月 4日（土） 16:00
2. 会 場      競技会場      愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド  
                 監督会議      愛荘町スポーツセンター秦荘体育館
3. 都道府県予選・ブロック大会について  
    (1)各都道府県予選会は本大会の実施要項に基づき、70mを含む競技により実施する。  
    (2)各ブロック大会は、70mラウンドで実施する。
4. 予選結果の報告について  
    (1)各都道府県協会(連盟)は、ブロック大会開催2週間前までに、全選手の都道府県予選の成績表(A4)1部をブロック大会の開催地協会(連盟)事務局あて提出すること。  
    (2)ブロック大会の主管協会(連盟)は、大会終了後翌日午前中までに、ブロック大会結果報告書を本連盟事務局あてに送信すること。これにより監督配分会議をおこなう。  
    (3)ブロック大会の開催地会長は、ブロック大会終了後、すみやかに(8月27日までに)、(1)の都道府県大会予選およびブロック大会成績報告書(国スポ第1号様式)・成績一覧表(A4)1部を本連盟あて報告すること。
5. 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準について  
    総則5に定めるもののほか、次による。  
    (1)参加選手は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員競技者登録を完了し、「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」の資格を取得している者。監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録を完了し、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく、公認アーチェリーコーチ1、公認アーチェリーコーチ2、公認アーチェリーコーチ3、公認アーチェリーコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。  
    (2)各予選の結果、代表として選抜された選手をもってチームを編成しなければならない。  
    (3)少年種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた中学3年生を含む。  
    (4)選手、監督の兼任はできない。  
    (5)本項に定める事項は、都道府県大会にも適用する。
6. 参加上の注意について  
    (1)参加者のユニフォームは、チーム内が統一のもので上衣には都道府県名が明記され、下衣は統一されたものであり、競技会場・練習場においては監督・選手とも全日本アーチェリー連盟競技規則による統一されたユニフォームを着用すること。  
    (2)選手の事情により、得点記録に代行者が必要な場合は、監督会議前日までに届け出なければならない。また、代行者の服装は選手と同様とする。  
    (3)監督は、交付される監督IDカード、帯同コーチは「帯同コーチIDカード」を、競技会場内では必ず視認できる箇所に付けること。  
    (4)用具検査時には、監督は資格を証明する登録証を提示する。選手は全日本アーチェリー連盟の会員証と「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」を提示する。  
    (5)用具検査は、4日(土)の13:00から15:00の間に用具検査テントにおいて全チームが受け、5日(日)(男子8:30から9:00、女子12:00から12:30)の競技開始前に実施する用具検査は、4日に実施できなかったチームと再検査チームのみが受けること。  
    (6)表彰式には、監督・選手ともにユニフォームを着用し、必ず参加すること。  
    (7)開催地において配宿する人数は、原則としてエントリー数のみとする。

(8) 監督会議には、監督は必ず参加すること。

7. 監督について

- (1) 監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録済みの者。
- (2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員制度に基づく資格を有する者。
- (3) 監督数については、総数52名以内(1都道府県2名以内)とし、8月28日(水)の監督配分会議により調整する。監督数は、「監督配置数の調整方法」により確定し、2種別出場でも監督2名とは限らない。
- (4) 帯同コーチを配置する都道府県は、「表彰状へ記載する監督名報告書」(国スポ第3号様式)を必ず提出すること。
- (5) その他、詳細については〔資料2〕に記載。

8. 帯同コーチについて

- (1) 監督を補助する目的で、競技運営・選手の行動が円滑に進むように帯同コーチを認める。
- (2) 国スポ正式参加者とならないので、大会プログラムには氏名は記載しない。
- (3) 帯同コーチの資格について
  - ① 公認スポーツ指導員資格は不要。
  - ② 本年度の全日本アーチェリー連盟に加盟団体から会員登録済みの者。
  - ③ 申し込みチームと本連盟登録した都道府県が同一であること。
- (4) 申請は、全日本アーチェリー連盟事務局に行い、愛荘町実行委員会が「帯同コーチIDカード」を発行する。 なお、当日の受付は原則行わないので注意すること。
- (5) その他、詳細については〔資料3〕に記載。

9. トレーナー(コンディショニングコーチ)について

- (1) 選手のコンディショニングを整える目的で、選手休憩エリアでの施術を認める。施術は自身の都道府県に与えられた椅子やテーブルの置かれている範囲内で行うことができる事のみとする。  
※ベッドなど大型の機器使用伴う施術をする場合は、競技会場外で行うこと。
- (2) 国スポ正式参加者とならないので、大会プログラムには氏名は記載しない。
- (3) トレーナーの資格について
  - ① 公認アスレチックトレーナーなどの有資格者が望ましい。
- (4) 申請は、全日本アーチェリー連盟事務局に行い、愛荘町実行委員会が「トレーナーIDカード」を発行する。 なお、当日の受付は原則行わないので注意すること。
- (5) その他、詳細については〔資料3〕に記載。

10. 視察について

- (1) 視察員については、原則5年後までの国スポ開催県(市町)実行委員会と協会(連盟)の入場を許可する。それ以降の開催県で視察を希望する場合は、事前に愛荘町実行委員会に問い合わせること。  
なお、当日の受付は原則行わないので注意すること。
- (2) 視察申請は事前に愛荘町実行委員会に行い、申請があった者に視察員IDカードを発行する。
- (3) その他、詳細については〔資料3〕に記載。